

ライン4倍、人員5倍

CS 品質検査体制を強化 向上へ

シスコシステムズ

シスコシステムズ(東京都港区、黒澤保樹社長、03・5549・6500)は、約24億円を投じて品質センター(千葉県山武郡)の検査ライン増強を図るとともに作業人員を現在の30人から150人体制に強化する。併せて全国のパーツ供給拠点の拡充を進め、アフターサポートの人員も30人増員する。同社は03年度(02年8月-03年7月)の事業戦略を既存

市場のシェア拡大に標準を定めており、その一環として品質要求に厳しい国内ユーザーの顧客満足度(CS)向上にも注力する。

品質センターは、近鉄エクスプレス成田ターミナル内に02年6月に設置した出荷前検査拠点。現在の検査ラインを4倍に拡大すると同時に、検査装置の種類も増やし、03年度中に全体の7-8割の機器検査をカバーでき

る体制を構築する。現場の作業人員は、3月までに外部のアウトソーシング企業を活用して増員、現在の5倍の150人体制とする。出荷前製品の機能検査、目視検査、耐圧検査、バインディング検査などを実施し、外觀・機能および初期不良の検出力向上につなげる。

またアフターサポート部隊も現在の200人から、3月までに230人に増やし、同時にパーツ

供給拠点も現在の14カ所を順次増やし04年12月をめどに62カ所にする。

さらに技術情報データベース(DB)の日本語化作業に約3億円やネット

トワークソリューションセンター向け装置の追加を加える計画。

03年度の設備投資総額は約35億円規模になる見込み。